

国際労働会議とシアトル日本人社会 に関する資料——補遺

黒 川 勝 利

解 説

かつて私は、ワシントン大学資料館所蔵北米日本人会文書（Japanese Association of North America Papers, Manuscript Collection of the University of Washington, Accession No. 1235-2）の中に含まれていた、北米連絡日本人会から第1回国際労働会議に宛てた書簡を資料として紹介し、同時にこの会議がシアトルの日本人社会においてどのように受け止められていたかを吟味した。しかしながらその当時は、この書簡がいかなる状況の下に書かれたものなのかなどいくつかの疑問を確認することができずに次のように注記しておいた。

前後の事情から判断するとシアトルの日系新聞、『大北日報』にこの書簡についての説明が掲載されている可能性がある。それを参照できればより詳しい情報を入手しうるかも知れない。しかしながら、国会図書館所有の『大北日報』のマイクロフィルムではちょうどこの会議が開催されている時期の分がまるまる欠落しており、参照することができなかった。かつて参照したカリフォルニア大学ロサンゼルス校の図書館所有の『大北日報』のマイクロフィルムでもやはり同一時期の分が欠落していたように記憶している。ただしこの記憶が正しいかどうかをこの稿の執筆にあたって再確認することはできなかった⁽¹⁾。

この記憶に誤りはなかった。しかしながらその後、この国際労働会議が開かれた1919年末を含む第一次大戦期から戦後にかけての数年間分の『北米時事』が、合衆国各地の研究図書館の共同史料保管施設であるシカゴの研究図書館センター（The Center for Research Libraries）に保存されているということを知った。『北米時事』は当時のシアトルにおいて『大北日報』と読者を争っていた日本人新聞である。そこで今年（1995年）シカゴに滞在した折りにこれを閲覧するとはたして当時の状況が、しかも書簡の執筆者たる山岡音高自身の報告の形で掲載されていた。

周知のように山岡音高は、論客、政客を欠かなかった当時のシアトル日本人社会の中でも常に一目を置かれていた人物である。静岡事件によって10年を監獄に過ごした自由民権運動闘士としての情熱は北米移住後も衰えず、東洋貿易会社設立、偽造旅券事件、小沢帰化試訴問題への関わりなどをはじめとして、数々の逸話を日本人移民史に残している。長男であるジョージ・ヤマオカが第二次世界大戦後に東京裁判の弁護人として活躍したことも良く知られている。この報告は、単に私の前稿の補足としてのみならず、このきわめて興味深い人物の思想を考察するにあたってもまた有益と考えたので、ここにあらためて資料として紹介することとした。なお報告の中に現在では用いるべきではない表現なども散見される。この点山岡音高もまた時代の限界を免れなかったと言うべきかも知れないが、資料の性格を考慮してそのまま収録した。また、彼のシアトル出発と帰来についての『北米時事』の記事をあわせて収録した。

なお、原文中の旧字体の一部を新字体に変更した。また、文章中の傍点および（ ）は原文のとおりであり、【 】は私が付け加えたものである。□は私には判読できなかった箇所である。

1 出発 (『北米時事』, 大正 8 年10月28日)

●山岡代表の出発 ▲松見聯日會長は後発

華府国際労働大會へ聯絡日本人會より二名の代表委員を派遣するの件は昨紙に報道せしが右代表たる山岡音高氏は本日午前十時二十五分発ミルウォオキー線にて出発松見, 奥田, 柴垣, 古屋, 中島, 熊井, 甲木, 泉, 大学生及本社員其他有志見送りありたるが代表員松見北米聯日會長の東行は数日後なるべし⁽²⁾

2 第 1 信 (『北米時事』, 大正 8 年11月 8 日)

国際労働會議第一信 華府にて 山岡音高

■拾月廿八日シアトルを發し途中モンタナ南部ダコタの風雪を衝いてシカゴに入り其翌朝即ち拾一月一日午前拾時ワシントン府に到着してホテル, ニューウキロードに投宿す

十一月一日は日本より来れる代表者一行の宿所を訪ひ且つ旧知の人々に面會し大体の意向を知ることを得たり

拾一月二日は日曜なれば例の国際労働會議も開催なきを以て多くの人々の面會する好機會なり政府側鎌田氏岡實氏及政友會所属代議士金杉英五郎氏等に面會し来意を通じ置きたり

■又資本側の人々に多く面會したれども一々其氏名を擧ぐるの煩を避くべし, 資本家側の意向は余の面會せる人々の意見にして全体を代表するものとせば余等の予期せし如き只管日本の国情は外国と異り (知れた事なり) 余

【今の誤植か?】俄かに労働時間の一定を為す能はず是れ日本の國家を滅亡すべしと云ふに在り

■政府側の意見は未だ明確に知る能はざるも全然資本家側の意志と一致せざるに似たり

労働者代表には一寸面會したれども未だ十分の意見交換を為すべき機會なし
今朝時間を定めて會見することに決すべし

今回の代表者一行の代弁者又は顧問と稱するものは皆米国出身の人々なるには一驚を喫したり日本に於ける労働者にして今回政府が選出せる代表者に対し不平ありとは曾て耳にせる處なるが果して米国労働組合長ゴンパース氏に宛てて抗議書を送りたる為めゴンパース氏より國際労働會議の資格審査委員に提出せり

■本日の審査委員會に如何に之を決定すべきや兎に角此の如き小紛争の為に會議の進行を阻止することはなかるべし

余がシアトルを發して以來到る處の新聞を閲するにシカゴ、ニューヨーク等の大新聞に到りては此會議に対する態度の甚だ冷淡なる驚くに堪えざるものあり

余の探知する處に依れば其理由多々ありと雖今や米国は生産業上空前の危機に際し石炭坑夫の大ストライキより鉄道問題及び鋼鉄工場の大ストライキあり紐育には埠頭人夫の罷業あり六百隻の海洋船舶は空しく港内に滞留する有様にて石炭坑夫の罷業に対する政府の處置は労働者の権利を侵害する不法の處置なりとの反抗ありて或は之れが為め一般労働界を攪亂するの恐れあり政府及資本家側の恐慌甚しく為めに新聞記者を牽制し此際成るべく労働界の視聽を惹かざる手段を講じつゝあるならんと是も一説なり

又他の一説には米国は今や内国問題に忙殺せられて労働團體の如き直接利害の關係薄き國際労働問題などを考慮するの違なく殊に上院に於ける國際聯盟條約の批准を得ざる今日米国は正式に此會議に列席する能はず是れ米国人一般が此會議を重大視せざる所以ならんも若し國際條約批准を終り米国側より正式に代表者参列することとならば形勢は一変すべし云々と是も亦一説なり去る廿九日國際労働會議を開きて米国労働省のウキルソン氏議長に予選し英佛日伊白等の代表者より一人づつの副議長を選び更に各委員の選挙を為し本日より更に議事日程に入ることとなれり

本日の議題は

『失職者處分案』なり

本案は伊国代表者より提出せるものにて、此裏面には各国共通即ち需要供給の理法に依り移民の出入制限の撤廃を意味する頗る面白き問題なり如何なるべきや明日の通信を見よ猶今回賛同する各国の数は総計三十二ヶ国にして之に前日来参同會議を通過せし独逸二ヶ国を加ふれば総数三十四ヶ国なり

3 第2信 (『北米時事』、大正8年11月11日)

国際労働會議 在華盛頓府 山岡音高 11月4日朝 (第二信)

余が此行の目的たる在米十有餘万の同胞中其八十パーセント以上は労働者にして資本家は少数なれば所謂デモクラシーの本義に則り労働者の利益を計ることを主眼とするは又己むを得ざるなり殊に今回の労働會議に於て日本資本家側の主張すると称せらるゝ處の世界の与論とも称すべき八時間制に反対し独り日本又は支那等のみ除外例を請求するとせんか是れ實に民族の名誉を毀損し列国環視の中に劣等国民たるを自白するのみならず若し自ら劣等国民たることを甘受する時は米国に於ける排日派は奇貨措くべしと為し必ず言はん『日本人は産業及び労働問題に対し文明各国と歩調を一にする能はざる国民なり此の如き国民は米国の文明を破壊するの恐れあるは自明の理にして我等の彼等を排斥し若くは区別的待遇を為すは當然のみ』と吾等在米同胞にして日本政府の代表者若くは資本家の此の如き主張を黙過するは多年苦心の結果に成れる地盤を泥土に委し自ら破壊を招くと等しく是れ明かに一部の資本家又は政府者の為めに同胞は犠牲に供せらるゝのみならず移民若くは労働問題に関し紛争の種を後日に残すは日米間の国際関係を危ふくする所以にして同時に世界の平和を攪亂すべき害毒を醸すものと言はざるべからず是れ實に同胞に対し日米両国の国際関係に対し又世界永遠の平和に対し袖手傍觀する能はざる所以なり夫れかあらぬかカリホルニヤよりは既に代表者の華府に來り

或は議會に或は労働會議に運動しつゝあるは事實にして本日の議場に於て佛
 国代表者の大に日本攻撃を為したるが如き新聞紙上に現れずと雖も何等かの
 中傷讒誣に刺激せられ居るは掩ふべからず彼等の巧妙なる或は資本家側を慰
 撫して日本の除外例請求に許諾を与ふべしと運動し居るやも計り知るべから
 ず而して彼等は日本の国情及び産業の幼稚なるに同情する真似して盲目の
 ジャップ資本家等を陥れ以て其目的を達せんと計り居るやも亦知るべからず
 是甚だ揣摩憶測に過ぐるが如きも日本資本家側の或る者が直接に告げたる言
 葉の中に『諸外国に於て日本の国情を諒とし我々の主張に同情するもの尠な
 からず』云々の語気より察する時は大なる陥穽の前に立ちつゝあるやを危ぶ
 まざるを得ず此れが為に余は各方面に向つて出来得る丈努力を為し又日本の
 労働者側と接触して互に過誤なからんことを期しつゝあり而して第一に労働
 時間の制定第二に最低賃金の決定第三に婦人小児の労働制限第四に失業者處
 分問題即ち移民の有無相通ずる方策第五は米国の上院に於ける國際聯盟批准
 後に於ける運動にして是れは今日の處天機洩すべからず。【原文は傍点】
 猶上記の問題以外日々湧起する處の案件に対して最新の注意を払いつゝあ
 り。

昨三日の議事日程に上りたる失業者處分問題は委員附託となりたるが南米エ
 クアドールの代表者は決議案として各国の法律を改定し直に之を強制的に職
 業に就かしむるの案を提出したり然るに西班牙のドエルザ伯の動議に依り本
 案を経済上並に社會上及び法律的に研究すべしとの事に決し委員に附託する
 ことゝなりたり此問題は其關係する處頗る広く日本は勿論米国に於ても同
 胞中臨時職を失ひたる労働者に対し重大の意義あるものなり殊に失業者が或
 る一国の經濟其他の事情に依り其国に於て之れに職業を与ふる事の不可能な
 る場合は如何すべきとの疑問に到達したる時『労働に国境なし』との原則に
 依り各国労働者の自由交通往復を許すの己むを得ざるに至るべく此時に於て
 米国の多年主張し且つ実行し來りたる労働鎖国主義は其存在を許さざるに至
 るべく米国は如何にして此難関を切抜け得べきや最も注目し値ひする大問題

なり是れ伊国代表者の専心に考慮して提出したるものにして其国情及び移民輸出国として頗る日本と共鳴する点あるは面白し余は伊国の労働代表者と窃かに會合し或る運動の計策を立て考慮中なり。

労働代表者の資格に関し其本国の労働者より抗議を申込みたるは日本佛国及び南亜の三ヶ国なりしが審査委員會は抗議の理由なきものとして之を却下し現任代表者を認むることゝなれり。此事は日本出発當時の紛争を一扫したるものと云ふべし又各国労働者代表は其数に於て甚だ不公平なり即ち政府二、資本家一、労働者一と云ふ割合にて或る国にては政府側のみ出席し或は資本家側はあれども労働者側の出席なき等頗る均等を缺くとの故障出でたる為め労働者側の出席なき国は投票の数に与かることを得ざるものと決定せり又今四日は午後二時半より『八時間制』に対し本會議を開く由其模様は明日報道すべし

4 第3信 (『北米時事』, 大正8年11月12日)

国際労働會議 在華盛頓府 十一月六日夜 山岡音高 第三信

去る四五六の三日間に涉りて国際労働會議を賑はしたる問題は例の八時法の設定なり之を概括すれば各国政府及び資本家側は週四八時間を主張し労働者側は全部一日八時間日曜休日を主張す是れ一見同一の如くにして其實主張に大なる利不利の関係あるは左の如し

(一) 週四八時間と為す時は或日は十時間も十二時間も雇主の都合に依り労働を強制せらるゝ事ありとし異議を容るゝの余地なくして或は時に昼夜の労働を強めて或日には全然職業を与えざる等の不公平を生じ狡猾なる雇主に至りては五十人を要する事業に百人を雇ひ入れ一人には十時間乃至十二時間の労働を為さしめ四十八時間を超過せざる範囲に於て交代せしめオvertimeに対する高賃金の支払を免れんと欲するにあり

(二) 一日八時間と規定せんと主張するは労働者の健康衛生等より規則正し

き一週間六日の労働を要求するものにて若し事情に依り臨時八時間以上を労働する場合は普通労働賃金の一倍半乃至二倍を支払はしむべく及ぶべき丈八時間以上の労働を為すことを避くるにあり

此論議中最も注意すべきは加奈陀代表者の四十四時間説にして土曜日は半休と為すべく能ふべくんば全週間を通じて一日の労働時間を六時間以下に制限せんことを望むと付け加へたり

英国政府代表者にして元労働党の首領にして現内閣員たる彼の有名なるバーンス氏は八時間説中一週四十八時説を主張し今や世界各国の労働者は戦時中の過労より相當の休養を為すべき時機に達したり一週間四十八時間以上を労働せしむるは人道上より見るも經濟上より見るも最も許すべからざるものなりとは世界の通論なりと喝破し終りに曰く『左れども熱帯地方又は生産工業状態の全く幼稚なる国家には多少の斟酌を要す故に特別委員に附託して是等の事項を調査せしむべしと』

右は南洋又は印度暹羅等の半開又は未開国を指したるものなるに我日本の如き曩きに國際會議に於て必死運動して七大工業国の仲間入りを為し今回の國際労働會議開催準備委員たるの名誉を誇りつゝあるにも拘はらず日本をして今又南洋印度等と同一の境遇に置かるゝを満足せんとすバーンス氏の演説は彼等（日本政資側）に対し百万の援兵を得たるの思ひあらんも天下豈に此の如き矛盾撞着の甚しきものあらんや日本委員中一人の是に対して答ふるものなく其餘りに均霑せんことを希ふの卑劣なる態度は新聞記者團始め一般在華府の同胞を憤慨せしめたれば此事を動機として一団体を組織し時々起る問題に対し我代表者を鞭撻し刺激するの機関たらしめんと余は目下奔走中なり

5 第3信（続）（『北米時事』、大正8年11月13日）

國際労働會議 在華盛頓府 十一月六日夜 山岡音高 第三信（続）

此討議中去る四日米国上院に於けるイリノイス州選出共和党議員シャーマン

氏の労働會議を目して火付け、盜賊、破壊者、無政府主義の集合となし敵国独塊を参加せしめ日本の如き米国の産業を征服せんとするものを一所に集合せしむるが如き何の必要あつて此の如き會議を首府に召集したるやとの攻撃演説に対し各国代表者は大に激怒し之れ明かに米国の賓客たる各国代表者を罵冒凌辱したる非礼の甚しきものなればシャーマン氏謝罪するか又は本會議を他に移すか二者其一を撰むべしとの議論ありシャーマン氏の言論は実に常識を以て判断すべからざる不法の暴言にして相當の制裁を加ふべき価値ありと余は信ずるものなり

五日の議場に米国労働會長ゴンパース氏始めて着席し八時間問題に対し大気炎を擧げたるが氏の説は皆議場の容るゝ處とならずして敗れたり一日八時間（一週四十八時間にあらず）問題にして貫徹せらんか米国労働代表は此會議より撤退すべしと云ふ此場合には各国労働代表者も之に倣ひて退場すべし然る時此會議は消滅すべし

日本の労働代表者は余に誓ふて曰く世界各国の労働と必ず歩調を一にすべしと

6 第4信 (『北米時事』, 大正8年11月14日)

十一月九日夜 在ワシントン 山岡音高

本月四日第二の議案たる八時間制の議題に上りしより既に四日目なるも此問題に対して未だ決定に到らず然るに日本政府側より昨日の會議に於て日本は列国より工業状態遙かに後れ居れば八時間問題に対して日本は暫く保留を望むと発議したり是より議場漸く色めき渡りて日本及其政府の攻撃は各方面より起り来り一旦委員會に於て決定したる日本労働委員の資格問題再起し来り労働委員榎本卯平は労働者の選挙したるものにあらずして政府の選定したるものなり又曰く現に日本政府は労働者の團體即労働組合組織を許さず又ストライキを以て犯罪となしつゝあり此の如きもの果して能く國際聯盟の精神に

基きて開催したる労働會議に出席するの資格ありや否やと先づ第一に佛国の労働代表者ジョーオー氏は榊本氏の労働者にもあらず組合の選定せるものにもあらざることを猛烈に駁撃したり榊本氏は之に対して其身は現在鳥羽造船所の技師長なれども其昔し英米兩國に於て労働に従事し今猶其心は即ち労働者にして労働者の為め奮闘するものなるを誓言したる為め漸く資格審査委員會の決定し承認して事なきを得たり畢竟是れ日本の政治状態が各国の最も劣等視する處より發露するものにして決して榊本氏個人に対する攻撃にあらず此点は榊本氏も能く了解し居るものゝ如し且つ榊本氏が能く列国代表者側と意志の疎通を計り世界的に日本の労働者も同一の歩調を取るべきことを宣明しつゝある為め一部の誤解は消滅したるものゝ如し今回の會議に対し日本より來れる新聞記者其他代議士聯等数十名に上り華府に日本人の集りたること空前絶後とも稱すべき程なるに問題に対し之を刺激し且つ鞭撻する團體機関なきは遺憾なれば余は数日来奔走の結果在華府新聞記者其他有志並に華府日本人會の幹部を招待し同胞の本會議に対する希望並に在米邦人の境遇を説明し席上院外團組織の議を決したり之れが為少なからざる費用を要したるも其機関なければ如何ともする能はざるを知り豫め之れが準備として比曾を催したるに席上種々意見の交渉あり大いに益する處ありき

去る六日岡島金彌氏紐育より來り將にシヤトルに帰らんとするに逢ふ同氏は既にニューヨークに於ける所用を終り余の華府に在るを知らずして來りたが偶然旅館に於て邂逅したれば幸ひ余は一人にて朝から晩まで是と云ふ重大問題なきも邦人側は勿論列国側の意見を探り所謂敵の刃を以て敵を斃すの兵法を用ゐざるべからずと奔命に勞れ居る際故氏の如き英語に熟達し外国人との交際長じたる人を得たるは此上もなき幸なれば岡島氏に余をヘルプして暫時滞在し呉れと頼みたるに同氏も之を快諾したれば三四日來内外両方面に向かつて活動中なり茲數日を経ざれば余等運動の結果を發表する能はず例の八時間問題は未だ最後の決定に至らず來週月曜日に再議せらるべし近時エマソンペーション即ち解放なる語は一般の流行語なれども吾等は政治的外

交的国家的経済的又は社会的に学者の理想する真の解放を得るは何時なりや世界の労働運動の精神主義は人道正義に立脚して起りたるものに或は国家主義に捕はれて他民族他国民の排斥となり外交的に経済的に一国家一民族の利益を計るに急にして其主義精神を没却する者少なからず特に米国の労働階級に此色彩の甚しきを見るに至つて我等は理想の現代は行はるゝ甚だ遠きに慨嘆せずんばならず遮莫四海同胞主義とエマンシペーションは早晚実現すべきを疑はざれば百折撓まず千座屈せず飽まで奮闘を継続するの勇氣なかるべからず而して此奮闘の第一着として此労働會議に運動するは千載一遇の好機なりと信すればなり（十一月九日発す）

7 第5信 （『北米時事』、大正8年11月21日）

国際労働會議 在華盛頓府 （第五信） 山岡音高

去る九日は既報せし通り在華府日本新聞記者及び有志を招待して院外團組織を提議し政府にもあらず資本家にもあらず又労働者にもあざざる吾々有志が堅実なる意見を具体的に発表する機関たらしめんと欲したれども果して是れが幾分にては此會議を動かす力あるべきや否やは目下の處甚だ疑はしく新聞記者間にも種々の党派あり睨み合ありて到底或る問題に対し一致の行動を取ることは不可能ならんかとの疑問を禁ずる能はず特に驚くべきは日本の人々は頗る帝国主義の侵食を受け世界人類の幸福と云はんよりは先ず第一に日本の国家経済、国家の富強と云ふ点に囚はれて正義も人道も国利国権の前には一顧の價なきものと論断する傾向あるの一事なり余は世界各国民が決して国家主義帝国主義より全く離脱し居るものとは断言せざれども少なくとも之より解脱せんとする傾向あるに反し日本が更に此主義此主張を固執し拡充せんと欲する希望の各個人間及び政府者に至る迄最も猛烈熾盛なるを見ては日本の前途を悲観せざらんと欲するも能はざるなり
先週来より引続いて討議中なる八時間制問題は議論沸騰容易に決せず為に特

別委員の議に附することとなり十五名の委員を擧げて四五日間討議研究中なるか此委員會に於て日本は印度支那南洋各地と同等なる工業上劣等国たる地位に立ち永久各国より除外せらるべきものなるや否やは刻下の大問題にして日本政府代表者及び資本家は之を歓迎するも我労働代表者は極力之に反対して若つ日本を穢多村の列に加ふるなれば此委員會の席を蹴つて退去すべきと提議し今夕の委員會は之を決する能はずして明日に譲ることとなり。

余が在米同胞諸君に切実に望む處のものは前回既に発表せる如く若し此會議に於て日本を劣等国非文明国の班に列せしむる時は永久之より離脱する能はずして日本人民即ち我等同胞は劣等国民なることを聯合會議に於て承認せられ彼の排斥派に絶好の口実を与へ『吾等の日本人を排斥し之に区別的待遇を与ふるは當然なり』との結論に達し論理上之を抗争すべき道なきに至らん此事たる直接在米同胞に關係なしと観るが如きは淺見無知の甚しきものにして其結果は日米間に甚だ面白からざる紛争の因を残すべく結局する處日米両国は勿論延ひては世界の平和に影響するの一大事件を惹起するなきを保せず吾等是迄幾數年来忍ぶべからざる屈辱を忍びて今日まで来れりと雖も未だ曾て自ら劣等国民たる地位を甘受したることなし既に対等国民として言ふに忍びざる屈辱あり若し自ら劣等国民たることを甘受し聯合會議も是を承認したる時吾等の前途は果して如何なるべき哉思ふて茲に至る時余は実に寢食を安ずる能はざるものあり依て數日来一面我代表委員に運動すると同時に列国代表者側に向つて毫も隱蔽する處なく日本の実情をかたり彼等をして日本の劣等国たらんとする希望の裏面には經濟的帝國主義の潜伏する所以を了解せしめ以て危機を展開せしめんと日夜奔走苦策を廻らしつゝあり蓋し一部の少数の資本家には甚だ気の毒なる感なきにあらざると雖國家の前途を思ひ世界の平和と日米間紛争の根本を除去する手段としては実に已むを得ざればなり。

今回の労働會議は經濟的又は國家の損得を目的として召集したるものにあらずして會議の最大目的は巴里に於て既に宣言せられたる如く人道主義的見地より世界の労働者を人類の一員として承認し之を向上啓発し以て其幸福を享

受せしめんと欲するにあり然るに国家の大利害に関係なき少数資本家を保護する為め強めて屈辱を忍びて劣等国の班に入らんと欲するに至つては余は長嘆大息して日本の如き国に生れたるを怨まずんばあらず左りとも黙視すべきにあらざれば在米同胞の立場を明らかにするは假令其の目的を達せずとするも今日の急務にして他日に備ふる必要上今夜既に意見書の草稿を終りたれば明日之を印刷に賦し土曜日若くは月曜日にては各国代表委員に配布すべし。去る十一日日本労働代表者榎本氏の主催に係る休戦条約記念宴會は當地ワシントンホテルのルーフガーデンに開かる日本人の來會する者百餘名榎本氏司會し且つ開會の辞を述べて政府代表鎌田氏を紹介す鎌田氏数分間の演説ありたれども余は何の事なるや聞取る能はざりし其次には滞在中なる尾崎行雄氏にて大に政府国民及び資本主義の誤れるを論駁して一同を感奮せしめたり然るに金杉英五郎氏（代議士）起ちて之を矢尻りたり其次ぎ司會者の指名に依り余は起ちて同胞として又国家及び民族の名誉の為め又日米間の親和の為め將た世界の平和の為め日本の政治家及資本家の反省を促したるに一部の人士の外概ね賛意を表せり且つ同胞の衷情を諒とし同情を寄せられたるは余の深く感謝する處なり資本側よりは武藤山治氏弁解的の演説ありたれども論旨滅裂捕捉する能はず次に同胞諸君の能く知らるゝ法学博士岡實氏起ちて政府の保留案を提出する所以を泣くが如く訴ふるが如く縷述せられたれども要は資本家の弁護に過ぎず候併し氏の演説は日本の政府及び資本家の意見を忌憚なく発表したるものなれば余の意見書は此の演説者は【「演説者は」の部分には誤植であろう】政府及び資本家の謝れる論点を基礎として書かれたるものなり印刷済の上は送付して其訳文即日本語を紙上に発表すべし⁽³⁾

日本を八時間制より除外せんとする提議に賛成するは英国加奈陀及米国（正式に加入せざれども）なるは最も注意すべき現象にして伊、佛、白、瑞其他諸國の之に反対するは最も吾々同胞の看過すべからざる事実の伏在するものにあらざるやを焦慮せざる能はず諸君以て如何となす

（十一月十五日朝発す）

8 帰来 (『北米時事』, 大正8年12月9日)

●山岡特使の帰来

万国労働大會へ當地方在留民を代表し日本【仮名はにっかい、故に日會の誤植と判断する】特使として派遣したる山岡音高氏は昨夜帰沙したるが語つて曰く『日本政府の除外案に対し伊白佛等の諸国は日本の處置のスルきに甚しく悪感情を抱き抗論したるも英国は日本政府の意を了してか極力弁護せり云々

注

- (1) 以上、拙稿「シアトルの日系人団体から第1回国際労働会議代表への書簡」(『岡山大学経済学会雑誌』第23巻第1号, 1991年), 参照。
- (2) 松見大八は結局ワシントンには行かなかつたらしい。その理由はおそらく期待したようには募金が集らなかつたためであろう。実際、山岡音高もこの旅行で自腹を切る結果になつたようである。
- (3) この訳文を私はセンター所蔵の『北米時事』の記事中に発見できなかった。センター所蔵の『北米時事』では1919年11月25日号(5518号)が欠けているのであるいはこの号に掲載されたのかも知れない。しかしながら山岡音高が翻訳を中止した、あるいは長文すぎるので掲載されなかつたという可能性の方が大きいと私は判断する。